

板橋区産業振興事業計画 2025 原案について

板橋区産業振興事業計画 2025（以下「事業計画 2025」という。）について、令和3年11月に素案報告を行い、その後、パブリックコメントや学識経験者等により構成される板橋区産業活性化推進会議等での意見を踏まえ、事業計画 2025 原案をとりまとめたので報告する。

1 パブリックコメントの実施状況及び回答案

(1) 募集期間：令和3年11月13日～11月29日（17日間）

(2) 件数：1人2件（HP1人）

No.	項目	意見の概要	区の考え方
1	コロナ禍における事業者支援について	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食業や娯楽業をはじめとした区内事業者に対して、国や東京都と同様に今後も支援を続けてほしい。	国や東京都の動向を踏まえながら、令和4年度以降も引き続き(公財)板橋区産業振興公社と一体となって、区内経済の維持・継続と回復を後押しするとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会へ向けた産業構造や事業活動の変化への対応を支援していきます。
2	駅周辺の拠点整備について	新しい文化を取り入れつつ、既存の商店街も活性化するような駅前開発を進めてほしい。	駅周辺の整備に向けては、各地域で策定されているまちづくり計画の将来像を見据えつつ、専門家派遣等を通じて、既存の商店街の活性化や新たなにぎわいの創出など、地域の付加価値の向上をめざしていきます。

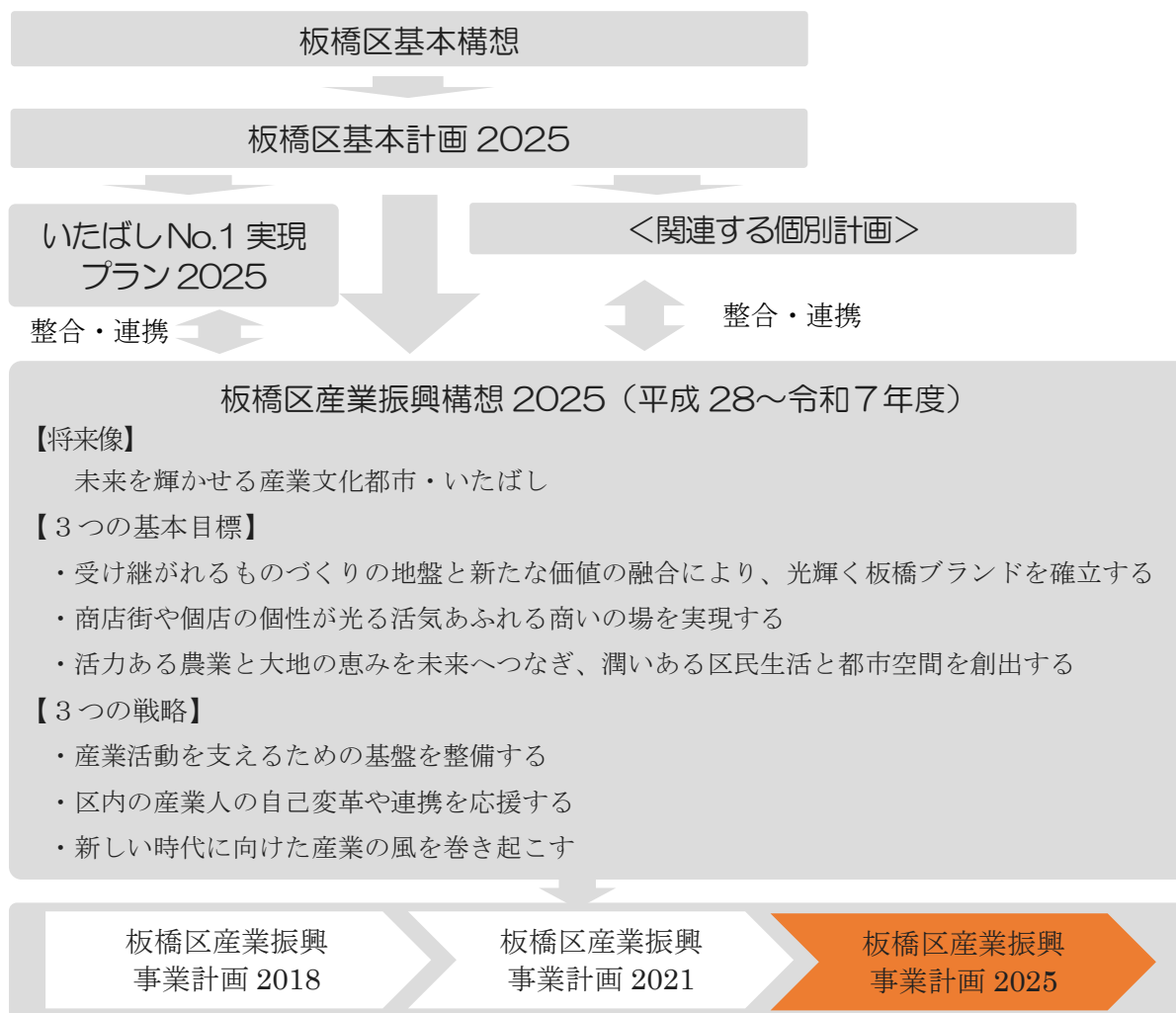
2 パブリックコメント実施時の素案からの主な変更点

No.	ページ	変更内容
1	20～21	区の産業振興施策の系譜のレイアウトを変更。
2	54～56	「4－1 施策事業一覧」を追加。
3	57～94	各事業に年度ごとの事業量を追加。
4	95	コラムの追加。
5	117～122	条例・要綱関係と産業活性化推進会議の委員名簿、策定経過を追加。
6	全体	その他写真・レイアウト等の変更・改善。※時点修正等の実施予定

3 「板橋区産業振興事業計画 2025」の概要

(1) 第1章 産業振興事業計画 2025 の策定にあたって【本編P2～5】

本計画の策定にあたっての背景や目的、計画の位置づけ及び関連する他の計画との関係、計画期間等を示す。



(2) 第2章 産業振興事業計画 2021 の振り返りと区内産業の現状

① 産業振興事業計画 2021 の振り返り【本編 P 8～19】

「工業」、「商業その他産業」、「農業」、「産業ブランドの確立に向けて」、「共通施策」の5分野の計画事業について、達成状況を一覧でまとめるとともに、成果や課題を踏まえ、事業計画 2025 でも引き続き取り組んでいく事業を整理する。

○ 事業計画 2021 の課題・事業計画 2025 でも引き続き取り組んでいく事業

- ・ 板橋ブランド戦略の充実
- ・ 顕彰制度の再構築
- ・ 区内製造業の経営力強化への取組支援
- ・ 工場の操業環境の維持とさらなる集積
- ・ 商店街の組織力強化と個店の魅力向上に向けた取組
- ・ 成増農業学校修了者及び援農ボランティアの活用
- ・ 認定農業者に対する支援及び新規認定の推進

② 区の産業振興施策の系譜【本編P20～21】

③ 区内産業の現状【本編P22～29】

区内産業の現状（人口推移、業種構成の変化、創業・事業承継の動向、商店街・農業の現状等）を把握し事業計画 2025 で実施すべき施策の抽出につなげていく。

④ 今後取り入れるべき経済環境の変化や視点【本編P30～33】

事業計画 2021 策定以降、区内事業者にも徐々に浸透し始めたSDGsの視点やスマート化及び環境経営への対応、DXやキャッシュレス化の推進、ECビジネスの普及、生産緑地法の改正をはじめ、国や東京都が策定している計画や各種法令の施行等、今後産業振興に取り組むうえで欠かせない経済環境の変化や視点をまとめた。

⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大に対する区と板橋区産業振興公社の取組

【本編P34～35】

新型コロナウイルス感染症の拡大に対する緊急経済対策の取組を整理した。

(3) 第3章 産業振興事業計画 2025

① 産業振興事業計画 2025 の基本的な考え方とめざすべき方向【本編P38～40】

第2章で確認した成果・課題や今後取り入れるべき経済環境の変化や視点等を踏まえ、基本的な考え方や今後4年間でめざすべき方向を示す。

○ 基本的な考え方

- ・ 区内事業者の経営の安定化に向けた施策を最優先で取り組むとともに、ポストコロナを見据えた産業構造や事業活動の変化への対応を切れ目なく支援していく。
- ・ 販路拡大や生産性・地域経済の改善に向けたDXの推進や産業のブランド化と併せ、他分野との連携による都市型産業の形成の促進やSDGsを念頭に置いた持続可能な企業経営への支援によりコロナ禍を克服し、板橋の未来につなげていく。

○ めざすべき方向

コロナ禍の克服に向け、引き続き区内事業者を支援し区内経済の維持・回復に取り組むことと合わせ、これまでの成果をもとに構想 2025 の実現と、その先の区の姿を見据え持続的に発展するまちをめざしていく。そのために、地元事業者が稼ぎ、雇用を創り、消費を生み出すことで、地域経済の好循環による事業者や就業者、来街者の増加につなげていくこと、板橋のポテンシャルを活かした施策展開により産業活力を高め、事業のイノベーションや地域の付加価値の向上により、区民生活を豊かにする新たな価値の創造に取り組んでいくことで実現させていく。

② 産業の未来を紡ぐ4つの展開【本編P40～51】

いたばしNo.1 実現プラン 2025 と連動させ産業の未来を紡ぐための新たな展開を掲げ、今後区がめざすべき方向・強化すべき施策の重点化を図り、集中的に取り組む。

- ・ 区内産業を支える人材の育成支援
- ・ 板橋ブランドの構築と強化
- ・ 地域の魅力再生とにぎわい創出
- ・ まちづくりと連動した産業の維持発展

③ コロナ禍からの経済再生【本編P52～53】

区内経済の維持・継続と回復を後押しするとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会に対応するための取組など産業構造や事業活動の変化への対応を支援する。

④ 具体的な事業【本編P54～97】

構想 2025 で掲げた将来像や進むべき方向、4つの展開・施策の体系を踏まえ、今後4年間で取り組む事業を掲げ、計画的に事業を実施していく。

4 これまでの検討と今後のスケジュール

検討状況	
5月18日	庁議 策定方針決定
5月24日	庁内検討会・WG 策定方針報告
6月4日	区民環境委員会 策定方針報告
7月14日	庁内検討会・WG 中間のまとめの検討
8月3日	産業活性化推進会議 中間のまとめに向けた意見収集
9月16日	庁内検討会・WG 素案の検討
9月27日	産業活性化推進会議 素案に向けた意見収集
10月19日	庁議 素案決定
11月9日	区民環境委員会 素案報告
11月13日～29日	パブリックコメント募集
12月8日	庁内検討会・WG 原案の検討
12月8日	産業活性化推進会議 原案に向けた意見収集
1月25日	庁議 原案報告
2月16日	区民環境委員会 原案報告
3月	策定 パブリックコメントの公表

めざす将来像 ～産業振興構想 2025～

未来を輝かせる産業文化都市・いたばし

今後4年間でめざす産業振興の進むべき方向 ～2025のその先へ～

地元事業者が稼ぎ、雇用を創り、消費を生み出すとともに、
区民生活を豊かにするための産業活力を高め、持続可能なまちをめざす

産業の未来を紡ぐ4つの展開

1 区内産業を支える人材の育成支援

低迷する区内創業率や事業承継・技能継承問題、新型コロナウイルス感染症拡大による雇用への影響を踏まえ、板橋の産業が将来にわたり成長するために重要な経営資源である「人」にターゲットを絞り、次代を見据えた施策をはじめ、働きやすい環境づくりや就労支援など、長期的視野に立って区内産業を支える人材の育成支援に取り組みます。

また、産業振興の一翼を担う公社のあり方を検討し、区と公社のそれぞれの強みを活かした推進体制・組織を構築します。

2 板橋ブランドの構築と強化

AIやIoT・ロボティクス・5Gなどの第4次産業革命・スマート化及び環境経営への対応に向け、DXやSDGsなどの新たな潮流を捉えるとともに、区の独自性や先駆性を打ち出しデザインすることで区が有する強みである医工連携や都市農業のさらなる活性化を図るなど、産業都市としての板橋ブランドの確立をめざします。

また、ブランディング・PRを含めた板橋のいっぴんのリニューアルを進めるほか、「(仮称)板橋産業ミュージアム」の整備では、理化学研究所や板橋区の産業発展に対する貢献と先端技術をテーマに展示し、歴史と文化が根差した地域を面として捉え物語を紡いでいくなど、魅力の創出に取り組みます。

3 地域の魅力再生とにぎわい創出

地域が持つ豊かな歴史や資源などの特性をいかした商店街の魅力再生や利便性の向上に商店街とともに取り組み、まちのにぎわい創出や地域コミュニティの核となる個性あふれる魅力的な商店街づくりを進めます。さらに、商店街の土台とも言うべき個店の取組や経営力の向上を支援していきます。

また、収穫体験など、区民が農に触れられる事業を継続的に実施するとともに、さらなる充実に向け検討していきます。

4 まちづくりと連動した産業の維持発展

製造業における操業環境の維持・改善や商店街の活性化、農地の活用と保全という視点からまちづくりに取り組むとともに、新たな企業立地や新産業の創出、産業集積力の強化をはじめ、地域の付加価値を高める都市型産業の仕組みの構築や空間の創出に向けた取組を促進します。

また、区が保有する産業支援施設のあり方を検討し、時代に合った機能の構築を図ります。

コロナ禍からの経済再生

これまで区は、新型コロナウイルス感染症対応方針を策定し、これに基づく緊急経済対策として区内事業者の事業の継続・雇用の維持に最優先に取り組んできました。

引き続き、区内経済の維持・継続と回復を後押しするとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会に対応するための取組に対する支援など、産業構造や事業活動の変化への対応を支援していきます。